

総合
社

る

Social

近畿大学総合社会学部紀要
Kindai Applied Sociology Review

2022. 3

Vol.10 No.02

Kindai Applied Sociology Review

近畿大学総合社会学部紀要

第10巻 第2号 2022

目 次

■原著論文

小学校教員の二次元レジリエンス要因がバーンアウトに与える影響
—コロナ禍における主観的負担感との関連—
..... 奥野洋子 1

中学校での学校規模ポジティブ行動支援が中学1年生の不登校、
学校肯定感および自己肯定感に及ぼす効果
—生徒主体による取り組みの効果に着目して—
..... 大対香奈子 15

■研究ノート

Educational Law in Thailand from 1999 to 2003:
Impact on Teacher Practices
..... Richard H. Derrah 29

■評論

都市農業振興基本法施行後の動向
—宅地から農地への転用に着目して—
..... 石原 肇 35

近畿大学総合社会学部紀要投稿規程
..... 43

表紙デザイン 前田大介

Kindai Applied Sociology Review

Volume 10, No. 2 2022

CONTENTS

■ Articles

- Bidimensional Resilience Factors Affecting Burnout in Elemental School Teachers
.....Yoko OKUNO 1
- Effects of School-Wide Positive Behavior Support on Truancy, School Liking,
and Self-esteem among First-Year Middle School Students:
Focusing on the Effects of Student-Driven Initiatives
..... Kanako OTSUI 15

■ Research Note

- Educational Law in Thailand from 1999 to 2003:
Impact on Teacher Practices
..... Richard H. Derrah 29

■ Criticism

- Trends after The Enforcement of The Urban Agriculture Promotion Basic Law:
Focusing on Conversion from Residential Land to Agricultural Land
..... Hajime ISHIHARA 35

- Manuscript submission guidelines of *Kindai Applied Sociology Review*
..... 43

Cover design: Daisuke MAEDA

近畿大学総合社会学部紀要投稿規程

紀要の名称

総合社会学部紀要

英文：Kindai Applied Sociology Review

紀要の形態

B5 縦長，左開き横書き，右開き縦書きで，いずれも本文は2段組とする。

この規程は，総合社会学部紀要への投稿に関する取扱事項を定めたものである。

1. 投稿者は，近畿大学総合社会学部専任教員，兼任教員，兼任教員とする。兼任教員は，専任教員を通じて原稿を提出する。
2. 原稿は，総合社会学部の扱う学問領域に鑑みて適正な範囲に収まっていることとし，その内容については，著者が責任を負う。
3. 原稿区分は，原著論文，総説，書評，研究ノート，評論とし，その内容は，下記のとおりとする。

原著論文 (Article)

オリジナリティ（学術的新規性）のある論文で原著論文としての体裁を整えているもの。

総説 (Review)

最近の学術的知見や成果等を骨子として総合的に論述し，オリジナリティのある結論を導き出しているもの。

書評 (Book Review)

国内外の著書等の内容に関する紹介記事で学術的に価値があるもの。

研究ノート (Research Note)

調査報告や実験結果など，論文としては完成されていないが，今後，論文や著書に発展する可能性があるもの。

評論 (Opinion)

学術的な内容を含むが，論文という形式を取らず，随筆，研究史，問題提起など，より自由な形式を持つもの。

4. 紀要委員会（以下「委員会」という）は，投稿原稿の掲載の適否を判断するため，審査を行う。また，委員会は，投稿者に対し原稿内容と原稿区分についての補筆や修正を求めることができる。
5. 紀要委員長は，1，2名の審査委員を委嘱し，投稿原稿の査読を依頼する。査読委員の意見が分かれる場合は，紀要委員長が扱いを決定する。
6. 原稿は原則として未公刊のものに限る。
7. 原稿の長さは原則として，刷り上がり20ページ以内とする。目安としては，日本語論文では30,000字以内，英語論文では10,000語以内とする。
8. 発行は年度中2回（9月と3月）とし，原稿の提出希望締切日と原稿の提出締切日は別途定め，これを厳守する。

9. 原稿の提出は、募集期間中（原稿の締め切り1ヶ月前から締め切り日まで）に、原稿に紀要原稿添付票を付して各専攻の紀要委員宛てに行う。
10. 原稿の受理日は審査委員からの受理日を原稿受理日とする。
11. 執筆者の校正は2回までとする。内容及び図表などの大幅な変更、追加は原則として認めない。
12. 投稿された論文の著作権は近畿大学に帰属し、掲載された論文については冊子体として、またPDFなどの媒体でレポジトリなどに公開されることを投稿者および共著者は承諾する。
13. 別刷りは、論文ごとに30部を無料配布とする。

付則

1. この規程は、平成22年7月26日より施行する。
2. この規程の改正は、平成27年9月14日より施行する。
3. この規程の改正は、令和元年7月17日より施行する。

記述上の注意

1. 原稿は縦書き、横書きのいずれでもよい。
2. 原稿は、文字の大きさを10ポイントとし、ワードファイルで各専攻紀要委員に提出する。
3. 図、表、写真、脚注などは本文データに挿入するか、別データで添付して、挿入位置などの説明を明記する。
4. 原稿中に通常の欧文以外の言語・文字（ハングルなど）を使用する場合はあらかじめ紀要委員に連絡し、印刷に支障のない措置を取る。
5. 図、表、写真を引用する場合、著者自身の責任で著作権の許諾を得ておく。
6. 投稿時には、原稿に紀要原稿添付票を付して提出する。
7. 原稿記述の詳細、引用文献、脚注などについては、それぞれの専攻によって別途定める。

編集後記

これを書いている2022年1月下旬、新型コロナウイルス（COVID-19）のオミクロン株が感染拡大する第6波に入っています。感染力は強いものの重症化しないようで、昨夏のデルタ株による第5波のころと比べると、個々人の危機感や不安感は、格段に小さくなっているようです。同じ新型コロナウイルスの変異株でも、これほどに性質を異にすることに驚くとともに、その報道を受けた人々が、マスクを付ける以外にはほとんど通常の生活に戻ってしまったかのように行動することに、情報に支配される人間というものの性を痛感せずにいられません。またこれから、どんな変異株が現れ、人々がそれにどう反応するのか、早くパンデミックが終結してほしいと祈りつつ、この格好の機会を利用しながら検討を重ねていきたいと思っています。

(辻)

執筆者紹介（目次順）

| | | |
|----------|------------|--------------|
| 奥野 洋子 | 近畿大学総合社会学部 | 准教授（臨床心理学） |
| 大対香奈子 | 近畿大学総合社会学部 | 准教授（応用行動分析学） |
| デラ リチャード | 近畿大学総合社会学部 | 准教授（教育） |
| 石原 肇 | 近畿大学総合社会学部 | 教授（地理学，地域政策） |

紀要委員

辻 竜平， 遠藤 信貴， 今西亜友美， デラ リチャード

近畿大学総合社会学部紀要 第10巻第2号 2022年

2022年3月30日 印刷

2022年3月30日 発行

編集・発行 近畿大学総合社会学部

〒577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

(06) 4307-3062

印刷 近畿大学管理部用度課（出版印刷）

Kindai Applied Sociology Review

総合
社

る

Social

近畿大学総合社会学部紀要
Kindai Applied Sociology Review

2022. 3

Vol.10 No.02